

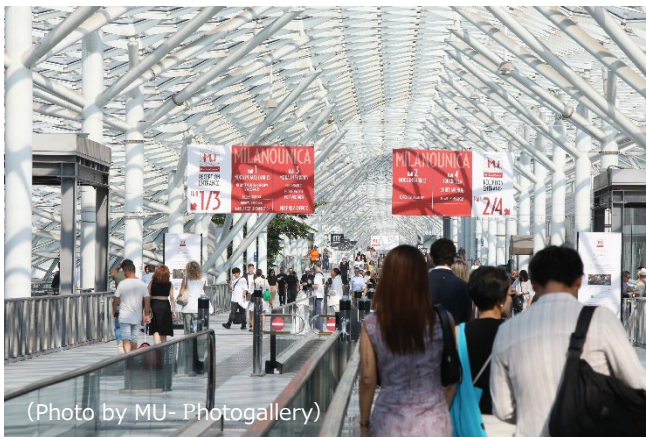
«The Japan Observatory at MILANO UNICA 2024AW ファイナルレポート»

レディス向けコレクションを求める海外バイヤーの増加が続く、ミラノウニカ展。

562 社が 2024/25 秋冬向け新素材を紹介！

テキスタイルの世界的な見本市「第 37 回 ミラノウニカ」が 7 月 11 日（火）～13 日（木）、イタリア・ミラノ「Fieramilano Rho」の中央通路を挟む Hall1.2.3.4 の 4 ホールを使用して開催された。

主催者数は 562 社。来場者数は 4,701 社（前年比 16%増）。高品質・エレガンス・クリエイティブなサステナブルを打ち出したミラノウニカ展に新製品・インスピレーションを求めて多くの海外バイヤーが訪れた。特にレディス向けのコレクションを求める海外バイヤーの増加が報告されている。



(Photo by MU- Photogallery)



(Photo by MU- Photogallery)

ミラノウニカ会長（アレックス・バルベリス・カニコ氏）は、以下のように「第 37 回 ミラノウニカ」を総括した。「プレミアム且つラグジュアリーセグメントにおけるイタリア製テキスタイルの 2023 年第 1 四半期の高成果からも業界に成長が戻り、ミラノウニカに焦点が当てられていることを示唆しています。実際、高品質とエレガンスは当イベントのキーとなる特徴です。日本・韓国に加え中国の増加に加えてフランスからのバイヤー数の大幅な増加も注目に値する。」

«2024/25 AW のクリエイティブテーマは「MU COMMUNITY」»

今回のミラノウニカでは、持続可能性に特化した「クリエイティブなサステナブル」エリアとして展開した。

2024/25 AW は、「MU COMMUNITY」を総合テーマに、快適さや温かみがあり包み込むような感覚のパレット、秋を感じさせるブラウン系～パステル・アクセントを取り入れた「FAMILY COMMUNITY」、白、クリーム、カーマイン色を交互に使うことでフォーマルなムードを表し、漆やシャイニーなメタル使いをアクセント的に取り入れた「CULTURE COMMUNITY」、ナイトライフを象徴した陰影によって表現され、明暗のコントラストとグレーの色合いで展開された「NIGHT COMMUNITY」の 3 テーマに区分けされ、それぞれのコーナーで、環境への負荷軽減を目指した未来へのニーズを反映した、サステナブル基準に該当する素材を展示した。



(Photo by MU- Photogallery)



(Photo by MU- Photogallery)



(Photo by MU- Photogallery)

サステナビリティへの取り組みにあらためて力を入れたミラノユニカ。サステナビリティを定義する 5 つの柱として、「気候危機へのアクション」「化学薬品の安全性」「生物多様性保全」「循環型経済」「社会正義」のラベルを付けて紹介した。そして同エリアの隣にはサステナブル素材に特化したインフォメーションエリアもあり、ラベルの情報など分かりにくい部分を聞くことができた。

また、新たな試みとしてメタバースブースを設置。ブース内で専用のゴーグルを装着すると、トレンドテーマの世界観をメタバース空間内で体験できるコーナーなど積極的に最新テクノロジーを取り込み、来場者を飽きさせない工夫もみられた。

開催 1 か月前に MU ホームページ上で公開される「E-MilanoUnica Connect」、今回からログイン ID の入力が必要になり誰でも簡単にアクセスできるようになった。1 か月のビュー数が約 9000 まで伸びている。より、利便性の高い PR ツールになることを期待したい。



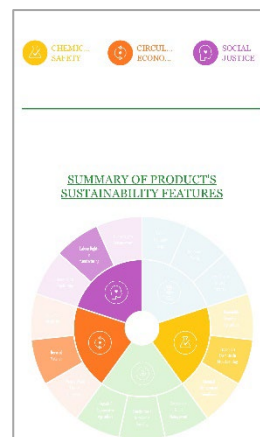
MU クリエイティブエリア (Photo by MU- Photogallery)



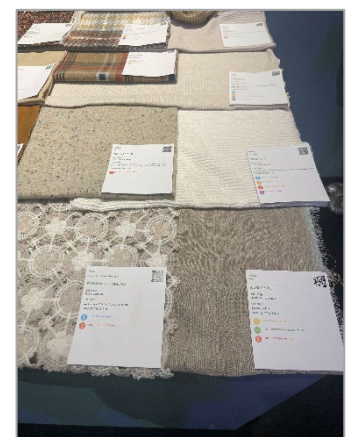
MU クリエイティブエリア (Photo by MU- Photogallery)



MU サステナブルインフォメーション (Photo by MU- Photogallery)



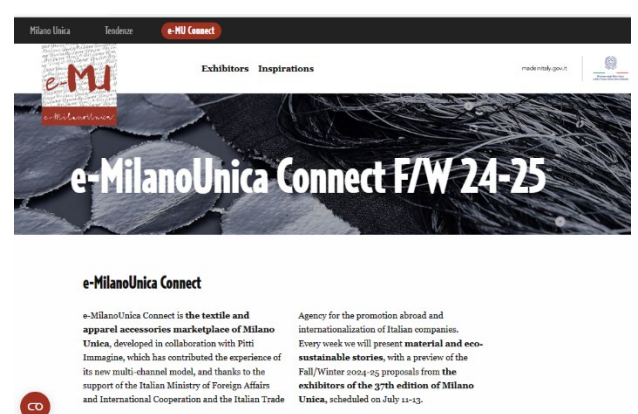
サステナブル分類画像



MU クリエイティブ素材 (Photo by JFW)



MU メタバースブース (Photo by MU- Photogallery)



日本の多様な産地素材が集積する

「Japan Trend & Index」、

日本製サステナブル商材に手応え！

日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）は、日本貿易振興機構（ジェトロ）と共催で、ジャパンパビリオン「The Japan Observatory」（JOB）を運営した。同ブースには 23 社・1 組合の出展に加え、サンプル素材出品のみの「JOBplus」に 7 社で合計 30 社。うち 6 社が初出展。集客のインセティブとして、ブース入り口で来場者に獺祭を振る舞った。

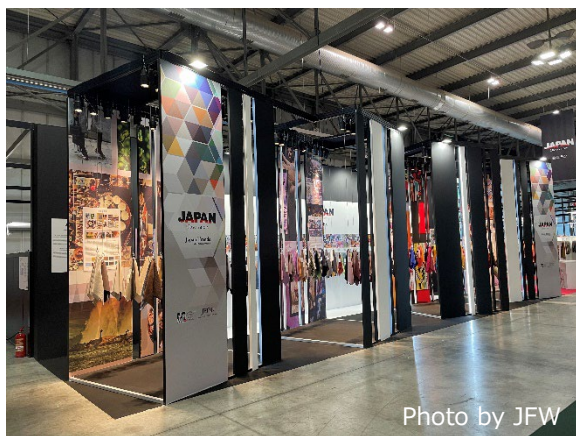


Photo by JFW

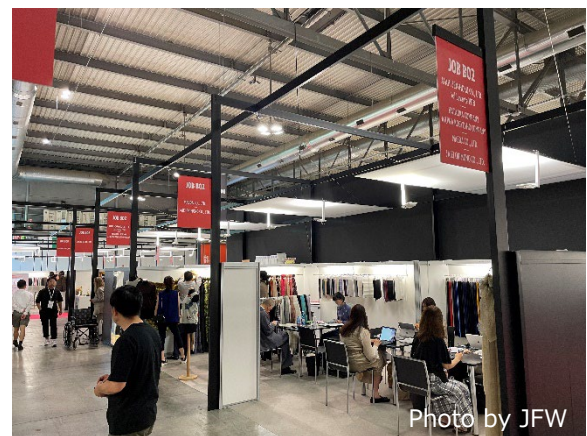


Photo by JFW

毎回好評な Japan Trend & Index コーナーでは JFW が世界に向け発信する日本オリジナルトレンド。同コーナーは、今回も多くのバイヤーの素材探しの場としての役割も十分に果たすことができた。連日、多くのバイヤーが訪れ、高品質な日本素材への関心の高さが伺える良い機会となった。



Photo by JFW



Photo by JFW



Photo by JFW

ジェトロでは、海外事務所（ミラノ・パリ・ロンドン・ニューヨーク）が保有する有カブランドの主要バイヤーリストを含む JOB 来場実績客等約 2,100 件に来場誘致を会期前に実施し、会期中は、ジェトロのアテンダントスタッフが JOB 内で来場バイヤーを出展各社ブースへアテンド。バイヤーからヒアリングを行い、取りまとめた情報のフィードバックを実施。例年同様、「基本情報」「ブランドカテゴリ」「素材リサーチ時期」「サステナブル認証の重要性」などを尋ねた。回答結果を見てみると、ミラノユニカの発表と同じくイタリア国外からは「イギリス・アメリカ」のバイヤーが増えていることがわかる。ストックサービスを打ち出す日本企業に対しては、バイヤーから一定の評価があった。

今後は欧州が求めるサステナブルニーズに対応していくことがキーポイントであると言える。

JOB 全体で 3 日間、計 889 件の商談が行われ、出展の多くは世界的パンデミックで失われた 3 年分の売り上げを取り戻すべく、JOB ブースに訪れたバイヤーに積極的に呼びかけを行い自社ブースに誘致する出展者やプロモーションビデオで原料や素材をアピールした出展者、ディスプレイウォールを活用し革新的・サステナブル性を訴える出展者など、それぞれ創意工夫を凝らした展示や積極的な営業活動を行いながらバイヤーとコミュニケーションを取っていたのが印象的だった。JOB ブースに出展した企業からは「取り扱う堆肥中分解性 PE 素材に複数バイヤーから興味をもって頂いた一方で、生産背景や価格が今後の課題と感じています。」「シャンプレー生地がよかったです。(サステナブル規格だけではなく、フロッキー商品も人気でした。)」 「原料、糸、織り、編み、染めの各工程の生産国、認証を求められました。」「漁網から作られた糸を使った生地があり、紹介できたお客様（バイヤー）からは「新しい」など「サステナブル」といったような反応をいただきました。」といったコメントがあった。

《会場風景（Photo by JFW）》



次回の春夏展で JOB が 10 周年を迎えるのを契機として、MU イベントや JOB 会場で様々な仕掛けを企画し、さらなる欧米市場開拓を図る場の環境づくりを目指します。

「JOB に来場した主な著名バイヤー」

1017 ALYX 9SM/AKRIS/Alexander McQueen/Alexander Wang/BALENCIAGA/BALLY/BRUNELLO CUCINELLI/Burberry/CELINE/Chloe/COLMAR/Colombo/CORNELIANI/DAMA/Diesel/Dior/DOLCE & GABBANA/Dries Van Noten/DSQUARED 2/Emporio Armani/ERDEM/Ermenegildo Zegna/FENDI/Giorgio Armani/GIVENCHY/GUCCI/GUESS/Herno/HUGO BOSS/Icicle/JACOB COHEN/JIL SANDER/Lacoste/LANVIN/Loro Piana/lulu lemon/Maison Kitsune/Maison Martin Margiela/Mango/Marc Jacobs/Margaret Howell/MARNI/Massimo Dutti/MAX MARA S.r.l./Michael Kors/Mila Schon/MONCLER/MSGM/NAPAPIJRI/Nike Inc./OFF WHITE/Paul Smith/Ports 1961/PRADA/Ralph Lauren/ROBERTO CAVALLI/Rossignol/SLOWEAR/Stella McCartney/Stussy/Supreme/The North Face/The Row/Theory/TOD'S/Tom Ford/TOMMY/Tory Burch/Universal Works./Victoria Beckham/Vivienne Westwood/ZARA

開催概要 >> <https://www.japancreation.com/job/2024aw/outline.html>

出展者情報 >> <https://www.japancreation.com/job/2024aw/exhibitor/list.html>

MU Photo Gallery >> <https://www.milanounica.it/en/milano-unica-37th-edition-gallery>

「The Japan Observatory at MILANO UNICA 2025SS 開催スケジュール」

会期：2024 年 1 月 30 日（火）～2 月 1 日（木）

会場：第 38 Milano Unica 2025SS

イタリア・ミラノ Fieramilano Rho（Hall8・12・16・20 を予定）

主催：日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW）、日本貿易振興機構（JETRO）

後援（予定）：経済産業省、日本繊維産業連盟

出展募集開始：2023 年 9 月中旬

問い合わせ先：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構（JFW） テキスタイル事業事務局

Tel: 03-6805-0791 E-mail: mu@japancreation.com